

第 112 回 防災カフェを開催しました。



災害時のトイレ問題について

～命を守る災害時の安心なトイレプロジェクト～

日 時：2026 年 7 月 31 日（金）18 時 30 分～19 時 40 分

ゲ ス ト： スターライト工業株式会社 佐野 涼介 さん

ファシリテーター スターライト工業株式会社 若山 修大 さん

災害発生時に起こり得るトイレ問題と、災害用トイレの基本についてわかりやすく解説いただきました。また携帯トイレやマンホールトイレなどの対策に加え、家庭や地域で取り組むべき防災備蓄のポイントについて活動事例を交えながら紹介いただきました。

災害用トイレ	メリット	デメリット
携帯用トイレ	被災直後に雨水・汚水・排水水の状況がなくても、備蓄されているのですぐに使用できる。	・排泄場所の確保が必要 ・排泄後の処理や臭気対策が必要
簡易トイレ	屋内のトイレ室を活用して使用することができるため、基本的な新たなスペースが不要である。	・排泄場所の確保が必要 ・排泄後の処理や臭気対策が必要
仮設トイレ	・繰り返し使用や輸送、設置する敷地は作り ・建設現場やイベント会場などで使われている ・一部では、防虫や臭気対策を講じている ・大便と小便を分離する機能を備えるものもある	・保管場所の確保が難しい ・露差から設置まで時間がかかる ・休屋下も設置があるため、人口に圧迫がある ・し尿をためておくため、抜き取りが必要
マンホールトイレ	・備蓄が容易で日常の水流トイレに近い ・設置を迅速に確保できる ・し尿を直接下水に流すので衛生的 ・入りの設置が少なく、要配慮者でも使いやすい	・線・網などの安全対策が必要 ・マンホールの開け方、トイレ箱の立て方は ・事前に知られていない ・し尿の処理能力/耐震化に影響を受ける

安全・安心面への配慮

トイレを快適な空間に

出典：国土交通省「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」（2018）より

車いす用マンホールトイレは…

出典：国土交通省「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」（2018）より

安全・安心面への配慮

トイレの 配置・スペース	- 避難場所の広域エリアの近くなど、利用しやすい場所に設置する - トイレは人目につきやすい場所に設置する - 男女別を基本とし、男女の出入り口の向きを異なるなど動線を分けて設置する - 車いすでもアクセスできる配置にする
トイレの 空間・設備	- トイレブースは想定される風雨等に耐えられるものとし、施設等により外から窓等に開けられないようにする - トイレの中が外に開明をつける - 上部は都市部のシロエツが風雨に強いようにする - フックや棚、リネターボックス等の荷物が置ける棚を設置する
トイレの 運用	- 女性用のトイレを男性用に比べて多くする - 女性や子ども等のために防犯ブザーを設置、または配布する - トイレには、人で行かないように声かけを行う - 女性や子ども等、意見を求める - 安全かつ快適な環境を高めることに努める

出典：国土交通省「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン」（2018）より

佐野さん、若山さん、ご参加のみなさん ありがとうございます。

第 112 回『防災カフェ』の概要は、後日お知らせします。